

ウォン高で盛況の日本旅行

ソウル駐在員事務所 洪承元

最近のウォン高の影響で海外に出かける旅行者が増加しています。7月における韓国人出国者数は144万3,015人(前年同月比+8.2%、法務部統計)中でも日本を訪れる旅行者が増えており、巷には格安旅行商品が溢れています。日本政府観光局(JNTO)の発表によると、今年7月日本を訪れた韓国人は約24万4,000人(暫定:前年同月比+28.6%)月別入国者数では2011年1月に続き二番目の多さだそうです。今回は韓国で人気の日本旅行コースを紹介いたします。

++

(1)九州オルレ¹

済州島といえば韓国の観光地として世界的に知られています。その済州島の観光コースの中に韓国内トレッキング・ブームで人気を集めている「済州オルレ観光」があります。この「オルレ」は、日本・イギリス・カナダ・スイス・レバノンでも導入され、その中で一番の人气が「九州オルレ」です。



各種日本旅行のパンフレット

九州運輸局と九州観光推進機構は「歩いて旅する人の道、済州オルレ」のブランドノウハウを取り入れ、2012

年は指宿・間間(鹿児島県)、天草・維和島(熊本県)、奥豊後(大分県)、武雄(佐賀県)の4コース、2013年には平戸(長崎県)、天草・松島(熊本県)、高千穂(宮崎県)、霧島・妙見(鹿児島県)の4コースを新設し、現在計8コースが運営されています。2012年に九州オルレを訪れた韓国観光客は約1万名と推定されており、歩くことが好きで、自然に癒されながら現地の人々と触れ合う九州オルレの韓国人利用者は今後も益々増えそうです。また、これらの地域には地元の天然温泉も湧いており、健康的なトレッキング後に温泉で疲れをとることができることが韓国でも注目されています。

(2)休暇を取らず週末旅行

¹ オルレは「通りから家に通じる狭い路地」を意味する済州島の方言。山や海岸等を五感で感じ、自分のペースでゆっくり楽しむトレッキングコースの総称として呼ばれる。

若者の間では日本では「弾丸ツアー」と呼ばれる「お化け旅行」(夜活動するお化けに例え、夜中に出発し明け方に帰国する旅行)も盛況です。仕事終わりの金曜夜に出発、月曜明け方に帰国し、そのまま会社に出勤する旅行のことで、週休二日制の定着と共に人気を集めてきました。宿泊費の節約、格安航空券の普及等により最近では、東京、大阪、シンガポール、香港などの大都市を満喫できるツアーも注目されています。ただし体力の消耗が大きいので、せっかくの旅行で逆に疲労を貯めないようにしなければなりません。

(3)対馬旅行

釜山から地理的に非常に近い対馬(長崎県)への旅行も人気を呼んでおり、釜山から船を利用するのが定番です。ソウルなど首都圏からは釜山までの交通費と時間がかかるので釜山旅行を兼ねたツアー客が多いのが特徴です。JR九州高速船がこの釜山-対馬航路に参入するなど、現在三つの船会社がこの航路を運航しています。2012年には過去最高の29万3,200人の韓国人観光客を記録しました。日帰りの釜山-対馬往復乗船券が2~3万ウォン(約1,800~2,700円)台の格安シーズンもあり、経済的な海外旅行と言われています。

近くてビザなし渡航が可能、格安航空会社(LCC)の就航数増加、ウォン高円安等の影響により、今後日本を訪れる韓国人観光客は益々増えそうです。私自身も九州には二度行きましたが、福岡市内観光が中心だったので、今回はトレッキングで地方を回る「オルレコース」に挑戦してみようと思います。

(為替 1 W = 0.09 円換算)

以上